

平成 31 年度 岡崎市立生平小学校 部活動に係る活動方針

1 本校の現状

- ・球技部を廃止し、ダンス・水泳の大会参加を中心とし、保護者の理解も得ながら実態にあった内容で行なっている。
- ・10月中旬から1月は活動を行っていない。
- ・児童は原則全員参加制とし、教職員は運動部と文化部で半々に分かれて指導している。
- ・運動部は「全国小中学生ダンスコンクール」「市水泳大会」に向けた取り組みを中心とし、文化部は「市家庭科作品展」などの様々な作品展に出展したり、園芸活動をしたりと実態に合わせて実施している。

2 本校における課題

- ・運動部と文化部の2つの人数に大きな偏りが見られることで、活動内容が制限されることがある。
- ・ダンスコンクールが名古屋で行われるため、参加費・交通費の負担が大きい。

3 具体的な活動方針**(1) 部活動運営について**

- ・学校は、安全で適切な部活動運営を組織的に行うため、指導・運営体制を考え、活動場所や活動時間、指導者の配置に配慮する。
- ・校長は、子供と指導者の安全に留意した運営環境の整備に努め、また、部活動をとおして、子供が心と体がたくましく鍛えられる活動であることと指導者である教員が、不適切な指導にならないことや、子供に成就感・達成感をもたらす指導であるか注視していく。
- ・顧問は、子供の安全・安心が確保されるよう休憩時間や水分補給をこまめにとるよう配慮する。

(2) 活動量（休養日や活動時間等）について**ア. 平日**

- ・活動日は、週4日以内とする。
- ・活動時間は、最長1時間30分（夏季）、最短30分（秋季、2月～）とする。

イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・休日は部活動を行わない。

ウ. 長期休業中

- ・土日については、原則活動をしない。
- ・活動時間は、3時間以内とし、長時間練習はしない。なお、大会への参加等により活動時間が長くなる場合には、気象状況や児童の健康状態を考慮した範囲内とする。

4 その他

(1) 保護者及び地域との連携

- ・顧問である教師は、日頃から保護者との信頼関係を築き、子供たちの活動が充実したものになるように心掛ける。

(2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・熱中症を予防するため、高温や多湿時にはWBGT値（熱中症指数）にも留意し、十分に水分や塩分が補給できる休憩時間を確保するとともに、体を冷やすために首に巻く市販の冷却タオル等を活用することを承諾し、家庭に呼びかけている。
- ・活動場所の施設、設備、道具について、月に一度点検を行う。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、緊急時の救急体制を整える。